



くぼた みらさん / 平成6年11月生まれ / 丸玉産業株式会社勤務

青春

くるーずあっぷ

丸玉産業株式に勤めて2年目を迎えた窪田美良さんは、津別町出身。現在、管理部経理グループに所属し、主に経理業務を担当しています。

津別高等学校在学中には、コンビニエンスストアでアルバイトをしながら簿記や情報処理、電卓など10種もの資格を取得したという努力家で、その甲斐があつて希望していた地元企業への就職が実現しました。

「経理は情報管理が厳しく間違いが許されない仕事なので、責任の大きさを感じます。経験を積んで、上司や同僚から重要な仕事を任せられるような社員になることが目標です」と意気込みを話してくれました。

休日には友人と食事や買い物に出かけることが多いという窪田さん。社会人になってまだ2年目ということで、今でも高校時代の仲間たちと共に過ごす時間が、一番リラックスできるようです。

温故知新

【433】

野菜作りを楽しむ

片桐 ミズエ さん



かたぎり みづえさん / 昭和7年3月、中標津町生まれ / 82歳 / 達美在住

平成24年からケアハウスつべつに入居している片桐ミズエさんの趣味は、敷地内の畑を借りての野菜作り。春から秋にかけて様々な種類の野菜を育てるのが楽しみだそうで、収穫したものはケアハウスの方や知人におすそ分けして喜ばれています。

中標津町の農家に生まれた片桐さんは、7歳の時に家族と活版屋に転居し、戦前から戦中、戦後の津別の移り変わりとともに、人生を歩んできました。

昭和27年に本岐で農業を営む片桐民雄さんと結婚。翌年には幸町に居を構え、一男一女の子

健康いきいき

交通事故を防ぐために

つるつるの路面に苦労した今年の冬でしたが、ようやく外出しやすい季節を迎えました。今回は、病院や買い物に自分で歩いて通うお年寄りの声を、とりあげたいと思います。

「安全に歩くということ」

気候が良くなり津別の街中でも、シルバーカーを押したり、杖をついて歩いているお年寄りをよく見かけます。時には、歩道から降り車道沿いを歩いているため「危ないな」、歩道を歩けばいいのに」と、思った事はありませんか。

危険であることは、お年寄りも十分承知しています。それでも車道を歩かなければならない事情があるのです。

「歩道の構造」

歩道に注意して見ると、車道に向かって傾斜しているのがわかります。歩道に溜まった水を排水するための傾斜なのですが、この傾斜は実にくせものです。

シルバーカーや車椅子を真っ直ぐに押しているつもりでも、車道の方へどんどん進んでしまい非常に危険です。

さらに、シルバーカーにつかまらなければ歩けないお年寄り

の場合、何度も向きを修正しながら進むのは大変な労力です。下手をすると、1m進む毎に修正することになり、時間はかかりかけて、へとへとになってしまいます。

また車が入りやすいため歩道の高低差も、杖をつきながら歩いているとやっかいです。足が不自由だったり、身体の半分に麻痺があったりする場合、この差でバランスを崩して転倒する恐れがあります。とっさに受身をとる事が難しいため、骨折や大きなけがをしてしまいます。

車道を歩く事は大変危険なことですが、ご本人の安全のため、どうしても歩かざるを得ない時があります。「歩道を歩けば安全」というのは「全ての人に共通なことではない」という認識を持つ必要があります。

もし、車道沿いに歩いているお年寄りを見かけたら、車を運転する方はスピードダウンしましょう。

お年寄りも、目立つ服装や夜光反射材を携帯するなど、十分留意しましょう。お互いに思いやりの心を持つことが、安全確保への第一歩です。

暮らしを支える

税

町税の納付は口座振替制度のご利用を

町税の税金は、北見信用金庫（役場派出所、本店及び各支店）、網走信用金庫、津別町農業協同組合、北洋銀行、北海道内のゆうちょ銀行（郵便局）で納付することができます。

『日中は仕事で金融機関に行くことができない』『納付を忘れてしまう』等の方は、口座振替制度のご利用をお勧めします。この制度を利用すれば金融機関の預金口座から振替によって納付することができます。金融機関に行く手間が少なく、また、納付を忘れてしまうこともなく大変便利です。

手続きは、口座振替をする口座の印鑑、預金通帳と納税通知書を持参して町の税金を納めることのできる金融機関で手続きをして下さい。振替口座の変更がなければ、毎年手続きをする必要はありません。

なお、口座振替の手続きをされた日によっては、直後の納期限に間に合わない場合がありますので、手続きの際には金融機関にご確認をお願いします。

5月は固定資産税第1期、軽自動車税の納付月です。納期限は、6月2日です。